



ジギトキシン：定量法

—第十六改正 日本薬局方より—

操作条件

検出器：紫外吸光光度計(測定波長：230 nm)

カラム：内径約 4 mm 、長さ 15～20 cm のステンレス管に 5 μm の液体クロマトグラフィ用オクタデシルシリル化シリカゲルを充てんする。

カラム温度：室温

移動相：メタノール/水混液 (3:1)

流量：ジギトキシンの保持時間が約 5 分になるように調整する。

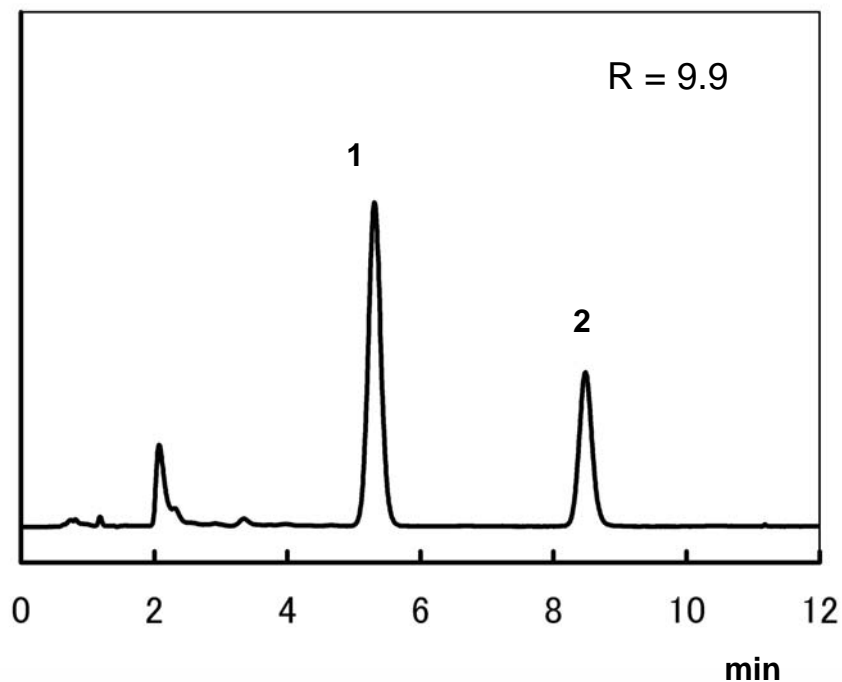
カラムの選定：標準溶液 50 μl につき、上記の条件で操作するとき、ジギトキシンの内標準物質の順に溶出し、その分離度が 6 以上のものを用いる。

注) 内標準物質 アセナフテンのメタノール溶液(3 → 1000000)



ジギトキシン: 定量法

— 第十六改正 日本薬局方準拠 —



Column: TSKgel ODS-100V 5 μ m
(4.6 mm I.D. x 15 cm)

Column temp.: 25 $^{\circ}$ C

Eluent: CH₃OH / H₂O = 3 / 1

Flow rate: 1.8 mL/min

Detector: UV (230 nm)

Injection vol.: 50 μ L

Concentration: 10 mg/L (Digitoxin)

Samples:

1: Digitoxin

2: Acenaphthene